

令和3年

第11回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和3年第11回教育委員会会議 議事録

1 期 日 令和3年6月24日 木曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午後2時

4 閉 会 午後2時15分

5 出席者 教育長 安田 浩幸

委 員 岩佐 信宏

伊藤佐知子

大塚和歌子

伊勢 昌弘

6 説明のための出席者

教育次長 石川定人

教育次長

石川政昭

総務課長 元野隆史

7 会議に付した事項

報告第5号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての
専決処分報告

8 承認した事項

報告第5号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての
専決処分報告

9 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和3年第11回教育委員会会議を開催いたします。

本日の議事録署名員は、1番岩佐委員と2番伊藤委員にお願いします。

なお、本日5番吉村委員は欠席しております。

はじめに、報告第5号「議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決処分報告」について、総務課長から説明をお願いします。

【総務課長】

報告事項「議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決処分報告」について説明概要

- ・令和3年秋田県議会第1回6月議会に提案した令和3年度秋田県一般会計補正予算案等について、事前に知事から意見の聴取があったが、教育委員会会議を開くいとまがなかった

ため教育長が専決処分し、原案どおり同意する旨を回答している。このことを報告し、承認を求めるものである。

- ・今回の補正予算案の総額は、12億3,443万4千円の増額である。
- ・補正予算の主な内容は、資料にあるとおり。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【岩佐委員】

「修学旅行キャンセル料等支援事業」についてですけれども、県立学校及び私立の学校についてはキャンセル料の補助をしています。市町村では小中学校にどのような対応をしているか、参考までに分かる範囲で教えてください。

【総務課長】

市町村につきましては、全てを確認したわけではありませんが、今回の新型コロナウイルス感染症の交付金を活用しまして、市町村独自に経費を負担しているところがあると認識しております。

【石川政昭教育次長】

キャンセル料が発生しないような事業者を選定したり、時期を移動するなどの工夫をしながら発生したキャンセル料は負担したりと、その両方が混在しているようです。

【岩佐委員】

たまたま旅行会社の方と話す機会があったのですが、延期になったとしても、それまでに人件費などはまるまるかかっていますし、時期をずらした分手間は倍かかるため、利益はほとんど残らないということを仰っていました。旅行会社の方も、これから存続できるかどうか分からない様な状況にありますので、個人的にはなるべく支払ってあげられればよいなど思っております。

【大塚委員】

総務課の私立高校分の修学旅行キャンセル料等支援事業費は880万4千円で、高校教育課の県立高校分は8,127万3千円ということで、これは規模の大きさの違いでしょうか。

【総務課長】

これは、対象となる生徒の人数によって決まっているもので、今回、一人当たりの上限額を1万2,060円としていまして、それに人数を掛けて、私立高校と県立高校、特別支援学校と分けて予算を計上しております。

【大塚委員】

中学校3年生の娘のことなんですけれども、とても楽しみにしていた県外への修学旅行が県内になってしまいました。大興奮して帰ってきました。県南に行くことになって、稲庭うどんや工芸品を作るところをグループで分かれて見に行ったそうなのですが、「自分では食べたことがある、見たことがあるものでも、作られる過程を分かっていなかった。受け入れてくれる人の気持ちがすごく分かって、そういう人たちに会えたことと、県外でなくても友達と過ごして楽しい時間を共有したということがとにかく楽しかった。秋田のことが知れて本当に良かった。」と言っていました。良かったと思いました。行った先の方々と、先生方と、旅行会社の方々が、子どもたちにそういう思いをさせようという気持ちが、子どもたちにも伝わっていて、大変に喜んで帰ってきたのでありがたかったです。

【安田教育長】

ありがとうございます。そのような感想は、ほかの学校からもたくさんいただいています。他にございませんか。

【伊勢委員】

7ページの「秋田県地域運動部活動推進事業」ですが、今回の予算というのは、専門の人に指導をお願いした場合の人件費などでしょうか。

【総務課長】

そうです。実際に部活動をお手伝いしてくれる方々にお支払いする謝礼が一番大きいです。

【伊勢委員】

将来的には多くの部活動がこういった形になっていくということなのでしょうか。

【総務課長】

目指しているところはそうなのですが、今回はモデル事業ということで、2地区を選定して実施します。

【安田教育長】

これは、国の予算でのモデル事業になります。

【伊勢委員】

いずれこの取組が広まっていったとき、予算的には大丈夫なのでしょうか。

【石川政昭教育次長】

予算の持ち方も含めて、モデル地区で研究をする事業となっております。

【安田教育長】

スポーツ庁は、土日の活動は学校から離して進めたい意図があつて、研究のためにこの事業を行うようです。

【大塚委員】

6 ページの保健体育課の「全国大会等出場校感染検査支援事業」ですけれども、このPCR検査は唾液検査だと思いますが、一検査当たりどれくらいの金額がかかるのでしょうか。

【安田教育長】

検査キットの単価はいくらになりますか。

【石川定人教育事業】

1 回当たり 1 万 4, 5 0 0 円で、8, 9 0 0 名分計上しています。

【大塚委員】

検査キット自体はそれくらいで、それから判定するためのお金がかかりますよね。私も学会などで購入した検査キットは持っていますが、一般的にはそんなにかかるのですね。

【石川定人教育事業】

今は様々なキットが出ていますが、検査の精度に幅があるので、その辺りを考慮した上で選定しました。

【安田教育長】

他になれば、承認してよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

では、報告第 5 号を承認します。

予定された案件は以上ですが、他に何かございませんでしょうか。

特になれば、以上で本日の会議を閉じます。

お疲れさまでした。